

とりかいこども園建替え工事等に係る説明会 議事要旨

1. 開催概要

日 時：令和5年6月25日（日）10:00～11:00

場 所：ゆうゆうホール鳥飼西

出席者数：12名

運営関係者

所 属		役 職	氏 名
摂津市教育委員会 事務局	こども教育課	課長	湯原 正治
		参事	中川 資子
		課長代理	上地 宏到（司会）
		主幹兼総括主査	松本 亮介（説明者）
		副主査	梶尾 理沙
株式会社日総建	子育て支援課	課長	飯野 祐介
		副所長	胡 啓介
株式会社日総建	大阪事務所	技師	玉村 祥子

2. 配布資料

摂津市立とりかいこども園建替え 説明会資料（別紙のとおり）

3. 説明内容

(1) とりかいこども園の園舎建替えについて

- ・旧とりかい幼稚園と現とりかいこども園の敷地を統合し、敷地の一部を鳥飼西小学校の敷地と用地交換を行います。
- ・用地交換により、鳥飼西小学校の運動場の形を長方形に整えます。
- ・こども園と園庭の敷地は水害対策として、かさ上げをします。
- ・新園舎は鉄筋コンクリート造一部鉄骨造の3階建ての複合施設とします。
- ・1階をこども園とつどいの広場機能、2階をこども園と災害対策用備蓄倉庫、3階を児童センターとします。
- ・新園舎には駐車場（8台分）及び駐輪場（約120台分）を整備します。
- ・令和7年11月頃から新園舎の使用を開始します。

(2) 道路拡幅工事について

- ・道路拡幅工事は、車両のすれ違いがスムーズにできるように、また、災害時において避難活動や消防活動等が円滑になることを目的とします。

- ・とりかいこども園の前面道路の歩道を約2.5m、車道を約7mに拡幅します。
- ・大阪府警本部との協議の結果、設置基準を満たさないため、新たな横断歩道の設置は難しいです。
- ・警察からの意見を取り入れて、車道に中央線を設けない、また、路側帯を設け幅員を狭めることで、車両の通行速度を抑える設計としています。
- ・現況の道路では、田んぼ際に転落防止柵は設置されていません。警察との協議では、柵の設置は必須ではないとの意見をいただいております。また、柵の設置には、道路の地権者の同意が必要です。本市も柵の設置に向け、地権者との協議を続けています。

(3) 工事スケジュールについて（予定）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ① 旧とりかい幼稚園解体工事 | 令和5年10月頃から令和6年2月頃 |
| ② 新園舎建設工事 | 令和6年7月頃から令和7年9月頃 |
| ③ 鳥飼西小学校遊具の撤去・移設工事 | 令和6年7月頃から令和6年10月頃 |
| ④ 現とりかいこども園解体工事 | 令和7年11月頃から令和8年5月頃 |
| ⑤ 園庭・小学校外構工事 | 令和8年4月頃から令和8年9月頃 |
| ⑥ 道路拡幅工事 | 令和8年10月頃から令和9年2月頃 |
- ※保育や学校園の行事への影響が最小限となるよう配慮した計画としております。

(4) 今後のスケジュールについて

工事業者の決定後、工事説明会を開催する予定です。

※旧とりかい幼稚園解体工事については、令和5年秋頃に開催予定

※新園舎建設工事等については、令和6年6月頃に開催予定

※説明会の開催時期が決まりましたら、あらためてお知らせします。

4. 質疑応答（要旨）

No.	ご質問・ご意見等	回答
I	先日開催されたとりかいこども園の保護者説明会ではどのような意見や質問が出たのか。	工事期間中の安全対策やアスベストの有無、建物規模が大きくなることに対するこどもたちの安全管理についてご質問等をいただいております。 アスベストに関するご質問には、法令に基づき、適切に解体工事を行うことを説明しております。 また、現場の先生の意見等を取り入れながら、こどもたちにとって安全な施設となるよう設計を進めていることを説明しております。

2	とりかいこども園を高台化すると説明があったが、現状と比べ、どれくらい敷地のかさ上げをするのか。	具体的な数値は、HPにてお示しします。 安威川氾濫時にも園庭は浸水しないようかさ上げをします。 また、計画敷地における洪水による最大の浸水想定深さは約 5m です。そのような洪水が発生しても、こども園の 2 階と 3 階は浸水しない設計となっております。 (かさ上げ後の高さについて) 現在のこども園の敷地の高さは、道路面から約 0. 0 ～ 0. 3 メートルです。かさ上げ後の敷地の高さは、道路面から約 0. 7 ～ 1. 0 メートルとなります。
3	説明会資料の「工事工程計画・工事仮設計画」にあるステップ 0 1 の工事出入口から工事車両等の出入りがあると思うが、現状の狭い道路幅員のままでの車両同士のすれ違いに対し、どのような対策をとるのか。	現状の道路幅員が車両のすれ違いに十分でないことは把握しており、工事車両等の出入りに際し、一般車両等の通行に支障がないよう交通誘導員の配置等の対策を行います。
4	運動会の開催には配慮されているようだが、工事車両通行のため、仮囲いが鳥飼西小学校の運動場に設置されている。工事期間中は常に運動場の一部が使えないということか。また、運動場のトラックの一部も仮囲いの範囲となっているが、トラックの部分は工事車両の通行のみできる対応とし、仮囲いの範囲を狭くすることはできないのか。	説明会資料の「工事工程計画・工事仮設計画」ステップ 0 1、0 2 - a に示す通り、なるべく鳥飼西小学校のトラックが仮囲いの範囲に含まれないよう計画しております。 また、トラックの一部が仮囲いの範囲に含まれていますが、鳥飼西小学校の運動会に影響がないよう、運動会終了後にステップ 0 2 - b 以降の工程に進むよう計画しております。現とりかいこども園解体工事期間は、道路拡幅工事前のため、工事車両の出入りについては、安全面に配慮すると、鳥飼西小学校の北門を利用することはやむを得ないと考えております。 工事車両の通行のため、鳥飼西小学校の運動場に仮囲いを設置しますが、仮囲いの範囲につきましては、できるだけ狭くなるよう配慮して計画しております。
5	旧とりかい幼稚園の解体工事開始前に、具体的な工事計画等を説明する場は設けるのか。	今年の夏頃に入札を予定しており、工事業者が決まりましたら、工事開始前に、工事等の詳細について改めて説明させていただきます。

6	説明会資料の中で提示している工程については、今後変更は可能なのか。それとも、この工事工程通りに進めていくのか。 また、こども園の建替え工事ではあるが、工事期間中に運動場が狭くなることなど、鳥飼西小学校の児童や保護者にも影響があるため、説明会を開催する必要があるかと思う。その説明会で出た意見等を踏まえての工事工程や仮設計画の変更は可能なのか。	できるだけ工事期間が短くなるよう検討し、また、近隣の方々やお子様の安全に最大限配慮し、工事工程計画を立てております。基本的には、本日お示しした工程で工事を進めます。 鳥飼西小学校にご協力いただきながら工事を進める中で、小学校とは逐一協議をしながら設計を進めております。また、鳥飼西小学校の保護者には、適切な時期に説明の機会を設けることが必要だと考えております。保護者からの意見等は、変更が可能な部分については反映させていただきます。現在も、小学校の授業や児童への影響が最小限となるよう計画しております。
7	こども園と鳥飼西小学校には、工事による騒音の影響があると思う。解体工事の際は、隣接するこども園に騒音の影響が大きいと思う。 また、こども園にはお昼寝の時間があると思うが、どのような騒音対策を行うのか。	工事の具体的な騒音対策については、工事業者決定後、ご説明させていただきます。また、こども園や隣接する鳥飼西小学校への影響が小さくなるように進めてまいります。
8	とりかいこども園建替え工事期間中は、現況の狭い道路のままである。工事車両の出入りに際し、工事車両出入口、こども園出入口、鳥飼西小学校の出入口、北側の信号のある交差点などに交通誘導員を複数配置する必要があると思うが、そのような安全対策は行うのか。	交通誘導員については、必要な位置や必要な時間帯に配置するよう計画を進めております。
9	道路や歩道が広がると、自転車や歩行者は安心すると思う。車道が広がることで、車のスピードが若干上がることが想定されるが、自転車を利用する地域の方々の安全対策はどのように考えているのか。自転車にたくさんの荷物を載せて通園する保護者の方々もいる。また、自転車は車道を走行すると言われていたが、小学生であれば歩道を自転車で走行してもよいと思われる。歩道を走行する自転車の速度を抑制する対策も必要ではないか。	拡幅道路は、事故の防止、安全確保の観点から、市の道路交通課より技術的助言（グリーンベルトやハンプ等の設置）をもらいながら、また、警察の意見も取り入れながら慎重に道路設計を進めております。 グリーンベルトとは、主に歩道が整備されていない通学路の路側帯を緑色に塗り、自動車等に通学路であることを視覚的に認識させ、速度抑制効果をねらうものです。現在の通学路は、児童は安全な歩道を歩くことになっているので、グリーンベルトを設置し、路側帯を児童に歩いてもらうことは考えておりません。 車の速度抑制についてはハンプ等の設置も考えられますが、道路上に凹凸ができるため、自転

		車等の転倒の危険もあります。また、拡幅後は交通量の少ない緩やかな道路になることから、現時点では設置はしない予定です。
10	こども園の敷地を1mほどかさ上げすることで、道路から施設の入口には傾斜があると思う。車いすの方が安心して利用できるよう、スロープの設置位置等に配慮があるのか。スロープは、車いすの方が使いやすい位置に設置されている必要があると思う。施設のバリアフリー化も計画に含まれているのか。	十分な幅員を確保した緩やかなスロープを設置する計画をしています。